

「2024年度起業と起業意識に関する調査」

～アンケート結果の概要～

I	調査目的と実施要領	1
II	調査結果（詳細調査）	
1	起業家・パートタイム起業家・起業関心層・起業無関心層の違い	4
2	起業家の実態	7
3	起業関心層の実態	18
4	起業家・パートタイム起業家・起業関心層・起業無関心層の満足度	23
III	まとめ	24

<お問い合わせ先>
日本政策金融公庫 総合研究所
小企業研究第一グループ
TEL 03-3270-1687
担当 笠原、桑本

I 調査目的と実施要領

1 調査目的

日本政策金融公庫総合研究所では、新規開業の実態を把握するために、1991年から毎年「新規開業実態調査」を実施している。ただ、同調査の調査対象は、開業前後に日本政策金融公庫から融資を受けた企業に限られる。そこで、同調査を補完し、「起業前後に融資を受けなかった人」や「まだ起業していない人」などにも焦点を当てるため、インターネットを用いたアンケート調査「起業と起業意識に関する調査」を2013年度から実施している。

2019年度調査からは、それまで一類型として分析していた起業家を、事業に充てる時間に応じて「起業家」と「パートタイム起業家」の二つに分けている。副業起業やフリーランスの増加などにみられるように、起業家の働き方は多様化しており、勤務や家事の隙間時間にインターネットなどを通じて小規模な事業を行う人も多い。また、現在の職業を「事業経営者」と回答していない人のなかには、勤務収入以外の収入があり、実態は自ら事業を始め、経営しているにもかかわらず、事業経営者であるとの認識をもたない「意識せざる起業家」も少なからずいる。このように多層化する起業家の実態を把握しやすくするために、2019年度から起業家を働く時間によりさらに分類することとした。分類に当たっては厚生労働省「労働力調査」における短時間勤務の基準を参考にし、事業に充てる時間が1週間に35時間以上を「起業家」、35時間未満を「パートタイム起業家」としている。なお、「意識せざる起業家」も事業に充てる時間に応じて起業家またはパートタイム起業家に含めて分析している。

2 実施要領

- (1) 調査時点 2024年11月
- (2) 調査対象 全国の18歳から69歳までの人
- (3) 調査方法 インターネットによるアンケート（事前調査と詳細調査の2段階）
インターネット調査会社から登録モニターに電子メールで依頼し、ウェブサイト上の調査画面に回答者自身が回答を入力。
- ① 事前調査 … 本調査の調査対象に該当するかどうか等を判別するための簡易なアンケート
 - ② 詳細調査 … 調査対象の該当者（「起業家」「パートタイム起業家」「起業関心層」「起業無関心層」）に対して行う詳細なアンケート
- (注) 1 2024年度調査では、起業年を「2020～2024年」「2019年以前」に区分し、このうち「2020～2024年」を「起業家」「パートタイム起業家」としている。なお、「起業家」は現在経営している事業に充てている時間が1週間当たり35時間以上である人、「パートタイム起業家」は同35時間未満である人と定義している。
- 2 事前調査で現在の職業を「事業経営者」と回答した人に加えて、「事業経営者以外」と回答した人のうち、勤務収入や事業収入以外に、過去1年以内に年間20万円以上の収入があると回答した人を事業経営者とし、そのなかからも「起業家」と「パートタイム起業家」を抽出している。
- (4) 回収数
- ① 事前調査 3万4,946人（A群2万人、B群1万4,946人）
 - ② 詳細調査 2,572人
- (注) 1 事前調査（A群）の調査対象は、性別、年齢層（10歳きざみ）、居住する地域の割合がわが国の人口構成に準拠するように、回収数を設定した。
- 2 事前調査（B群）は、「起業家」「パートタイム起業家」のサンプルサイズを確保するために、その出現率が高いと思われる属性をもつ人に対して行ったものである。

(5) 調査対象の選別方法

事前調査 (A群) による類型化

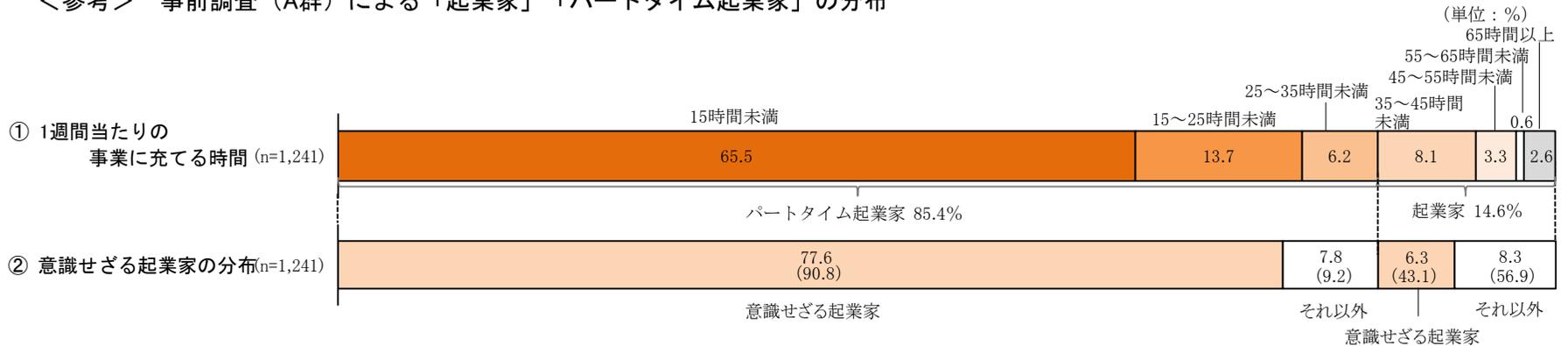
							回収数 (件)	構成比 (%)							
全国の18歳から69歳までの男女	事業経営者	自らが起業した事業がある	起業年	2020～2024年	事充時業て間 にる	35時間以上/週	103	0.5	➡	＜詳細調査の対象＞					
						35時間未満/週	97	0.5		起業家					
				2019年以前			737	3.7		パートタイム起業家					
		自らが起業した事業ではない			313	1.6	調査対象外								
											意識せざる起業家				
											調査対象外				
	現在の職業 それ以外	勤務収入の有無(有)	あり 事業経営者	起業年	2020～2024年	事充時業て間 にる	35時間以上/週	78	0.4	➡	＜詳細調査の対象＞				
							35時間未満/週	963	4.8		起業家				
					2019年以前			1,037	5.2		パートタイム起業家				
											調査対象外				
		なし	起業心への有無	なし	起業心への有無	起業に関心あり			2,155		10.8	➡	＜詳細調査の対象＞		
						以前も今も起業に関心なし			12,439		62.2		起業家		
以前は起業に関心があった(新型コロナウイルス感染症の影響により関心がなくなった)							490	2.5	パートタイム起業家						
以前は起業に関心があった(上記以外の理由で関心がなくなった)							1,588	7.9	調査対象外						
合計							20,000	100.0							

	回収数 (件)	構成比 (%)	構成比 (%)
起業家	181	0.9	1.1
パートタイム起業家	1,060	5.3	6.7
起業関心層	2,155	10.8	13.6
起業無関心層	12,439	62.2	78.6
その他(調査対象外)	4,165	20.8	
合計	20,000	100.0	100.0

資料：日本政策金融公庫総合研究所「2024年度起業と起業意識に関する調査」(以下同じ)

- (注) 1 「勤務収入以外の収入がある」とは、過去1年間に年間20万円以上の収入(年金や仕送りからの収入、不動産賃貸による収入、太陽光発電による収入、金融や不動産などの投資収入、自身が使用していた既製品の販売による収入は除く)があり、今後も継続してその収入を得ていく場合のことをいう。
 2 以下では「勤務収入以外の収入がある」と回答した人を「事業経営者」として、「勤務収入以外の収入」は「事業収入」として集計する。

＜参考＞ 事前調査 (A群) による「起業家」「パートタイム起業家」の分布



(注) 1 nは回答数(以下同じ)。

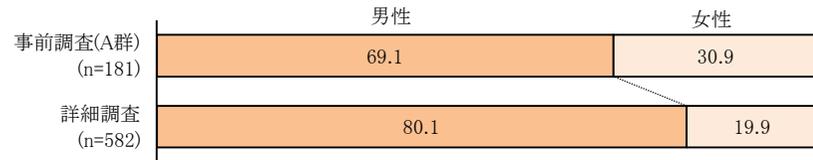
2 ②の棒グラフにおける () 内の数値は、パートタイム起業家、起業家それぞれを100%とした場合の内訳。

3 回答者の概要

(1) 性別

① 起業家

(単位：%)



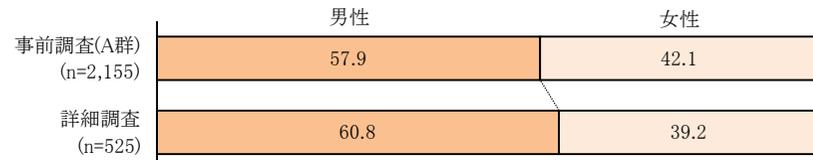
② パートタイム起業家

(単位：%)



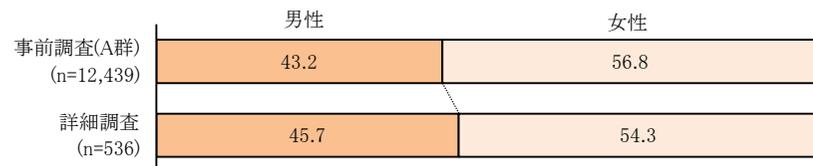
③ 起業関心層

(単位：%)



④ 起業無関心層

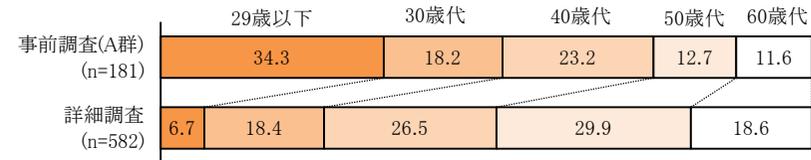
(単位：%)



(2) 調査時点の年齢

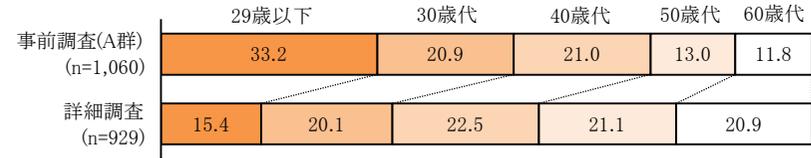
① 起業家

(単位：%)



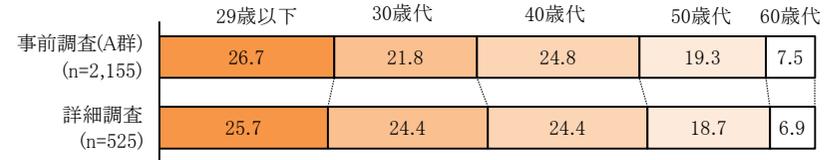
② パートタイム起業家

(単位：%)



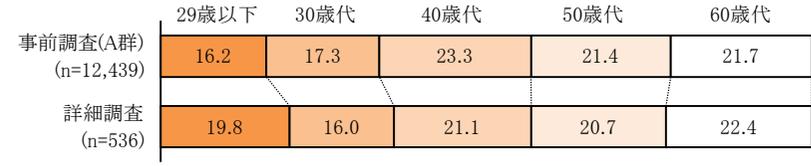
③ 起業関心層

(単位：%)



④ 起業無関心層

(単位：%)



(注) [再掲]事前調査 (A群) の調査対象は、性別、年齢層 (10歳さざみ)、居住する地域の割合が人口構成に準拠するように、回収数を設定した。

4 ウェイトの設定(詳細調査のサンプル)

詳細調査における起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の性別・年齢別構成比は、実際の人口構成を反映している事前調査 (A群) と比べて偏りが生じている。そこで、詳細調査の集計に当たっては、事前調査 (A群) の性別・年齢別構成比に近似させるために、25ページに記載のとおりウェイト値を設定した。以下では、ウェイト値による重みづけを行った集計を示している。ただし、図表中のn値 (回答数) は原数値を示した。

II 調査結果（詳細調査）

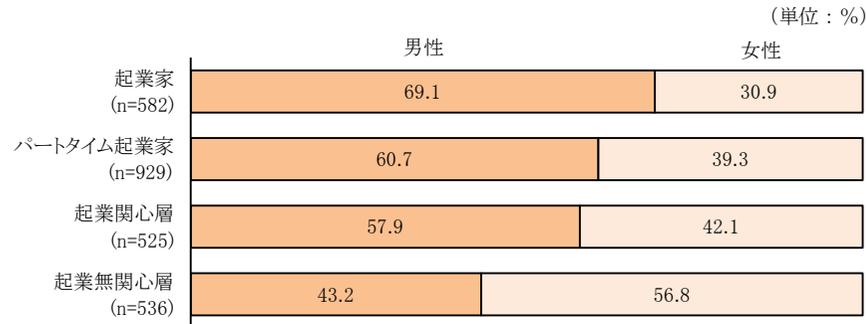
1 起業家・パートタイム起業家・起業関心層・起業無関心層の違い

(1) 属性

～起業家、パートタイム起業家ともに「29歳以下」の割合が最も高い～

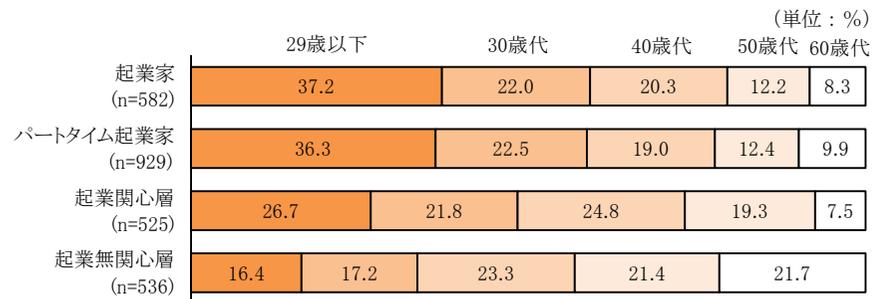
- 性別を類型別にみると、起業家は「男性」が69.1%を占め、パートタイム起業家では60.7%となった（図-1）。起業無関心層では、「女性」が56.8%と、半数を超える。
- 年齢（起業家、パートタイム起業家は起業時の年齢）をみると、起業家、パートタイム起業家は「29歳以下」の割合（順に37.2%、36.3%）が最も高い（図-2）。起業無関心層は、「60歳代」の割合（21.7%）がほかの類型に比べて高い。
- 現在の職業が「勤務者（正社員）」の割合は、起業家が8.6%と、パートタイム起業家（39.1%）、起業関心層（52.8%）、起業無関心層（35.9%）に比べて低い（図-3）。
- 主たる家計維持者である割合は起業家が64.7%で、パートタイム起業家（60.6%）や起業関心層（58.7%）、起業無関心層（44.3%）より高い（図-4）。

図-1 性別



(注) 詳細調査による集計データにウエイトをかけているため、3ページの詳細調査の結果とは異なる。

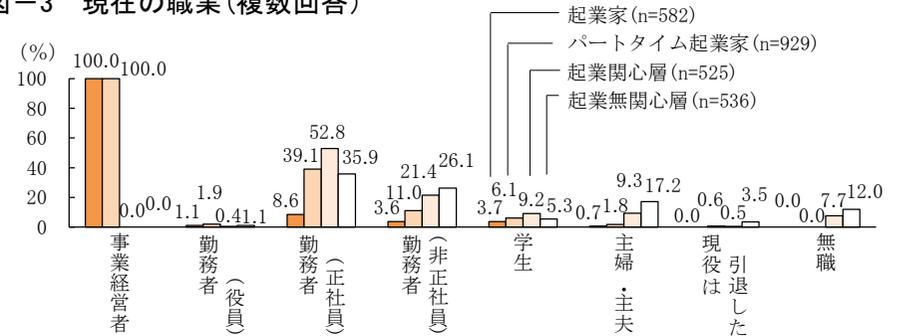
図-2 年齢



(注) 1 図-1 (注) に同じ。

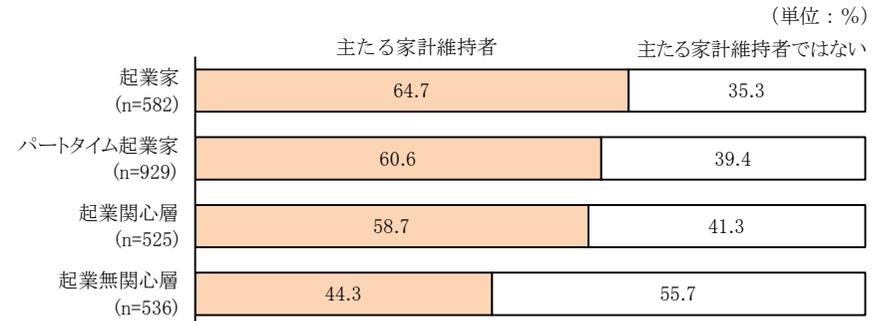
2 起業家、パートタイム起業家は起業時の年齢である。

図-3 現在の職業（複数回答）



(注) 分類上、事業経営者の割合は、起業家およびパートタイム起業家では100%、起業関心層および起業無関心層では0%となる。

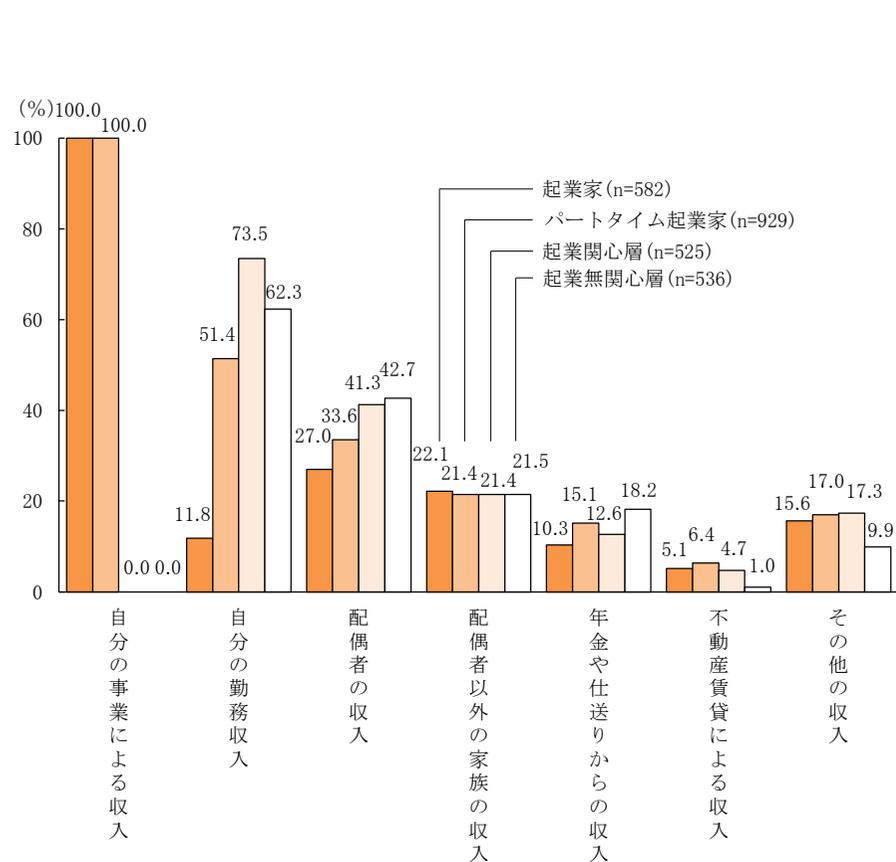
図-4 主たる家計維持者であるか



～起業関心層は育児に携わっている割合が高い～

- 世帯収入の内訳に「配偶者の収入」がある割合は、起業家（27.0%）やパートタイム起業家（33.6%）に比べて、起業関心層（41.3%）や起業無関心層（42.7%）の方が高い（図-5）。
- 育児に携わっている割合は、起業関心層で33.1%と最も高く、パートタイム起業家（30.5%）が続く（図-6）。
- 介護に携わっている割合は、パートタイム起業家（12.8%）と起業家（8.3%）で相対的に高い（図-7）。

図-5 世帯収入の種類（複数回答）



(注) 1 「その他の収入」には、「太陽光発電による収入」「金融や不動産などの投資収入」「勤務収入や事業収入以外の年間20万円未満の収入」が含まれる。
 2 分類上、「自分の事業による収入」は起業家およびパートタイム起業家では100%、起業関心層および起業無関心層では0%となる。

図-6 育児に携わっている時間

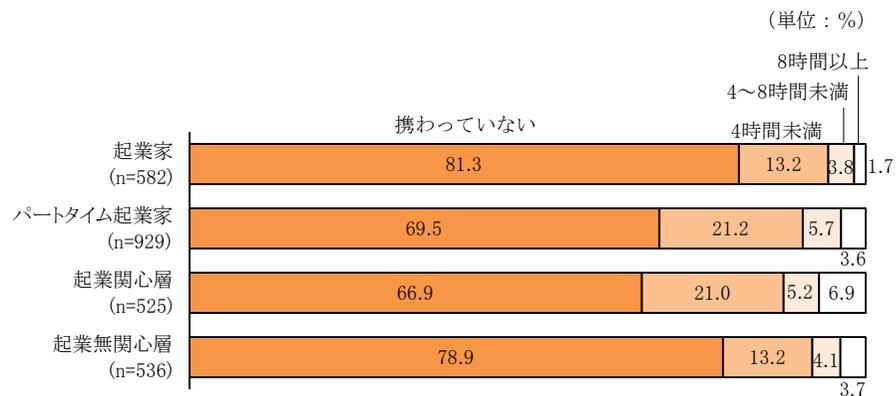
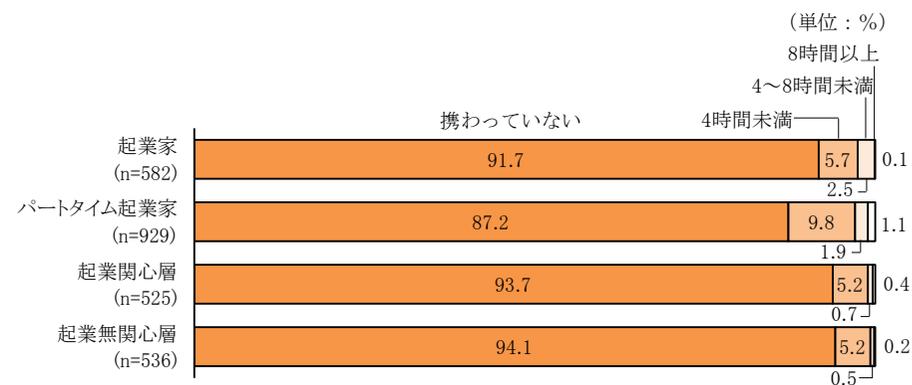


図-7 介護に携わっている時間

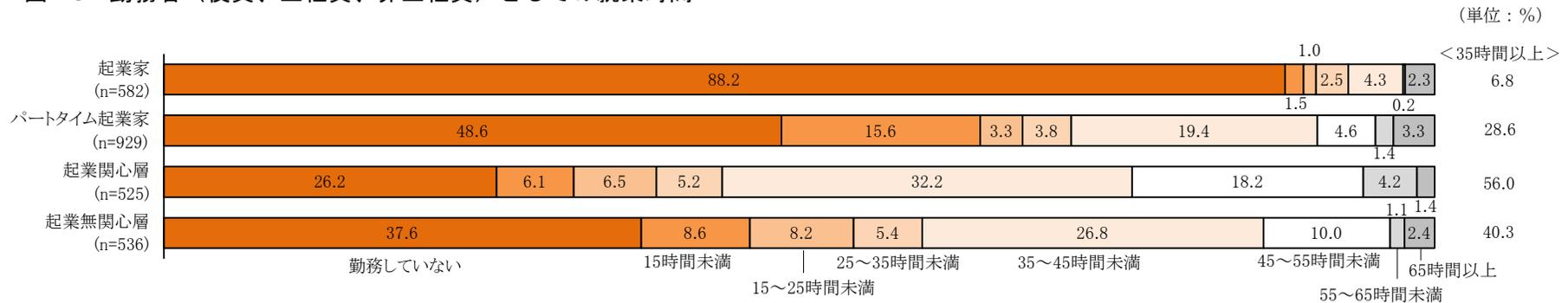


(2) 働き方

～パートタイム起業家の半数以上が「自宅の一室」で仕事～

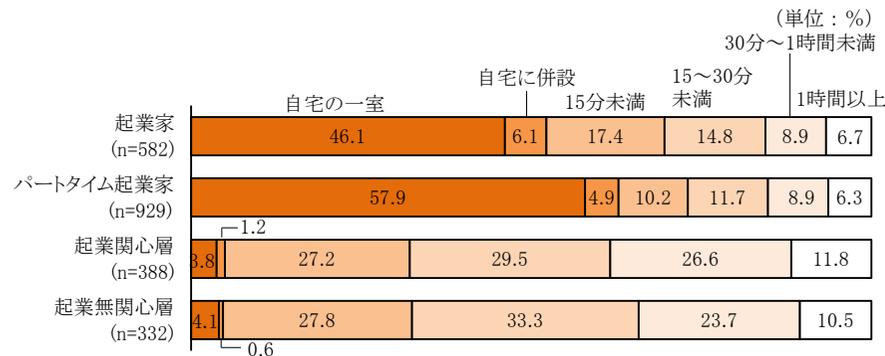
- 勤務者（役員、正社員、非正社員）としての就業時間が「35時間以上」の割合は、起業関心層（56.0%）と起業無関心層（40.3%）で高く、パートタイム起業家では28.6%、起業家では6.8%であった（図-8）。
- 通勤時間が「1時間以上」である割合は、起業関心層（11.8%）と起業無関心層（10.5%）で高い（図-9）。「自宅の一室」で仕事をしている割合は、パートタイム起業家（57.9%）で半数を超え、起業家も46.1%と高い。
- 仕事をするうえで最も重視することをみると、「私生活との両立」の割合は起業無関心層で44.6%と高い一方、ほかの類型では3割台である（図-10）。「仕事のやりがい」は起業家で32.7%と、最も低い起業無関心層（13.7%）の倍以上の水準である。

図-8 勤務者（役員、正社員、非正社員）としての就業時間



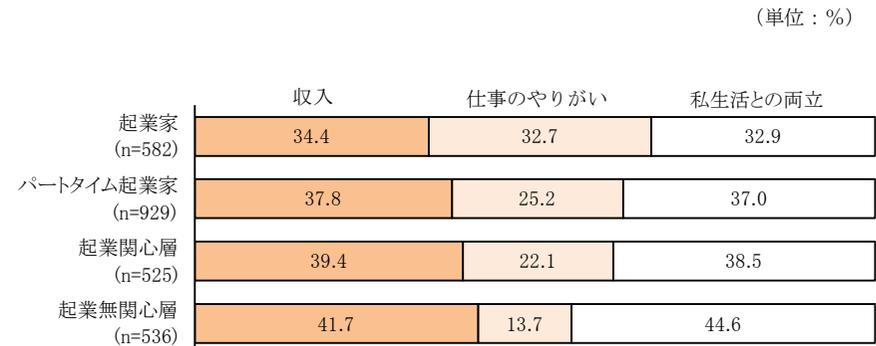
(注) 1 起業家、パートタイム起業家については、事業に充てる時間は含まない。
2 起業家の「55～65時間未満」は0.0%。

図-9 仕事の場所と通勤時間



(注) 1 起業家、パートタイム起業家は事業を行っている場所までの通勤時間を尋ねた。
2 起業関心層、起業無関心層は、現在の職業が勤務者である人へのみ、勤務先までの通勤時間を尋ねた。

図-10 仕事をするうえで最も重視すること



2 起業家の実態

(1) 主な属性

～1人で事業を運営している人は7割以上～

- 起業した業種をみると、起業家、パートタイム起業家ともに「個人向けサービス業」（順に28.4%、22.7%）が多い（表）。
- 開業時の組織形態は、「個人企業」が起業家（90.2%）、パートタイム起業家（97.4%）ともに多数を占める（図-11）。
- 現在の従業者数が「1人（本人のみ）」である割合は起業家（74.1%）、パートタイム起業家（77.0%）ともに最も高い（図-12）。

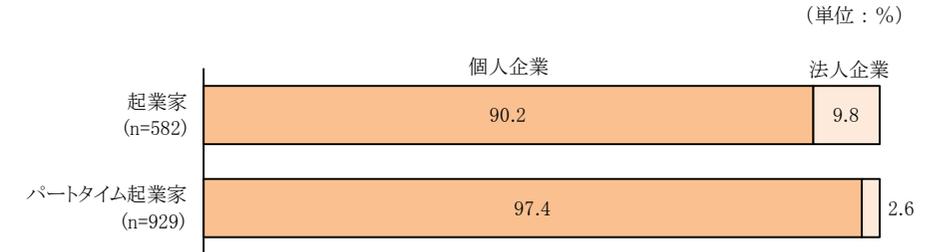
表 業種構成

(単位：%)

	起業家 (n=582)	パートタイム 起業家 (n=929)
建設業	5.8	6.8
製造業	3.7	5.3
情報通信業	10.6	11.9
運輸業	5.0	3.6
卸売業	1.2	1.7
小売業	12.2	11.6
飲食店・宿泊業	5.3	5.3
医療・福祉	5.6	6.2
教育・学習支援業	3.8	8.2
個人向けサービス業	28.4	22.7
事業所向けサービス業	11.1	11.1
不動産業、物品賃貸業	3.3	2.4
その他	3.8	3.1
合計	100.0	100.0

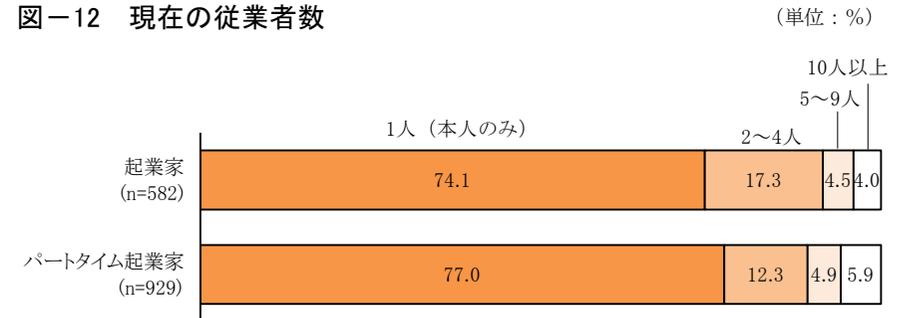
- (注) 1 起業家、パートタイム起業家に尋ねたもの（以下図-38まで同じ）。
- 2 複数の事業を経営している場合は、最も売上高が大きいものについて尋ねた（以下同じ）。
- 3 「持ち帰り・配達飲食サービス業」は「小売業」に含む。

図-11 開業時の組織形態



(注) 現在の職業を「事業経営者」と回答しなかった起業家、パートタイム起業家は「個人企業」とみなして集計した。

図-12 現在の従業者数



(注) 従業者数には経営者本人を含む。

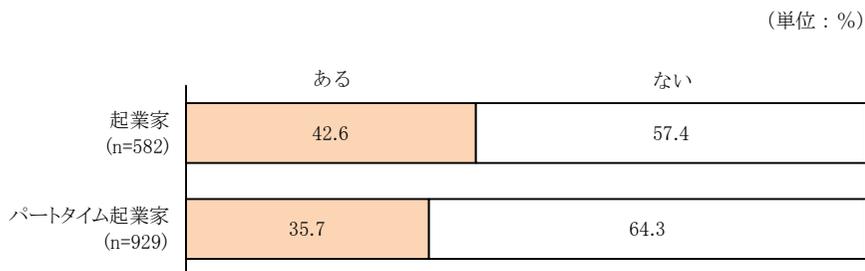
～パートタイム起業家の約半数が勤務しながら起業～

- 主な販売先・顧客が「一般消費者」である割合は、起業家が63.6%、パートタイム起業家が63.8%である（図-13）。
- 商品・サービスの新規性が「ある」との回答割合は、起業家（42.6%）の方がパートタイム起業家（35.7%）に比べて高い（図-14）。
- 開業時の勤務状況をみると、起業家は「勤務を辞めてから事業を始めた」とする割合（60.3%）が最も高い（図-15）。パートタイム起業家は「現在も勤務しながら事業を行っている」（39.2%）と「勤務をしながら事業を始めたが、現在は勤務を辞め、事業だけを行っている」（9.3%）を合わせた「勤務しながら起業した」割合が48.5%である。
- 勤務先からの離職理由をみると、起業家、パートタイム起業家ともに「自らの意思による退職」の割合（順に83.4%、83.0%）が最も高い（図-16）。

図-13 主な販売先・顧客



図-14 商品・サービスの新規性



(注) 「大いにある」「ある程度ある」を合算して「ある」、「まったくない」「あまりない」を合算して「ない」とした。

図-15 開業時の勤務状況

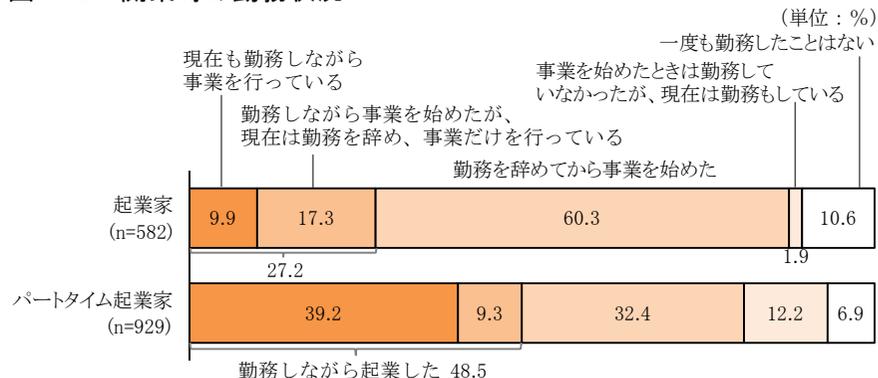


図-16 勤務先からの離職理由



(注) 1 図-15において「勤務を辞めてから事業を始めた」と回答した人を集計した。
 2 「勤務先都合による退職」は、「事業部門の縮小・撤退に伴う離職」「勤務先の廃業による離職」「勤務先の倒産による離職」「解雇」の合計。

～事業収入のほかに定期的な収入がある起業家は6割超、パートタイム起業家は8割超～

- 事業からの収入が経営者本人の定期的な収入に占める割合が「100%（ほかの収入はない）」である人は、起業家で34.6%と、パートタイム起業家（12.8%）を大きく上回る（図-17）。パートタイム起業家は「5%未満」（28.6%）や「5～25%未満」（31.1%）の割合が高い。
- 事業からの収入が世帯収入に占める割合は、起業家は「100%（ほかの収入はない）」が22.0%と、パートタイム起業家（8.3%）を上回っている（図-18）。

図-17 事業からの収入が経営者本人の定期的な収入に占める割合

(単位：%)

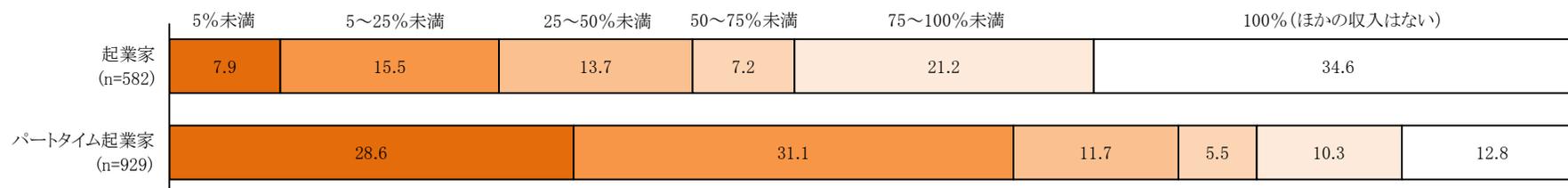
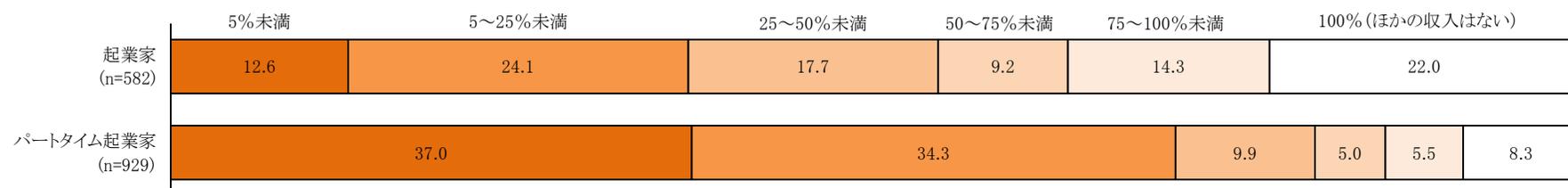


図-18 事業からの収入が世帯収入に占める割合

(単位：%)

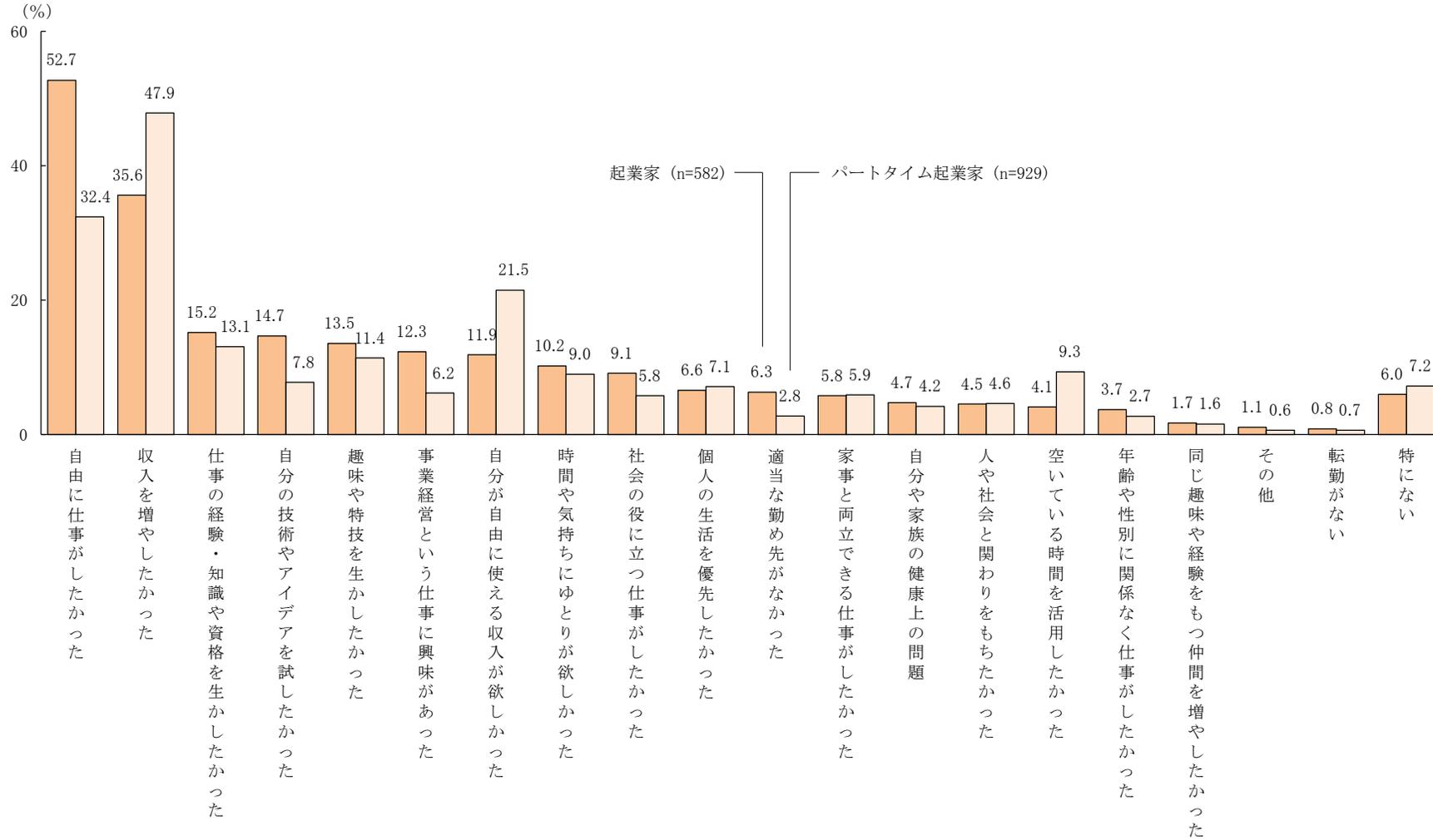


(2) 起業動機と事業の進め方

～最も多い起業動機は起業家が「自由に仕事がしたかった」、パートタイム起業家が「収入を増やしたかった」～

○ 起業の動機をみると、起業家は「自由に仕事がしたかった」(52.7%)が最も多く、「収入を増やしたかった」(35.6%)、「仕事の経験・知識や資格を生かしたかった」(15.2%)が続く(図-19)。パートタイム起業家は「収入を増やしたかった」(47.9%)、「自由に仕事がしたかった」(32.4%)、「自分が自由に使える収入が欲しかった」(21.5%)の順に多い。

図-19 起業動機 (三つまでの複数回答)



～費用をかけずに起業した割合は起業家が約3割、パートタイム起業家が半数以上～

- 起業費用は、起業家では「50万円未満」の割合（36.5%）が最も高く、次いで「費用はかからなかった」との回答割合が28.9%を占める（図-20）。パートタイム起業家では「費用はかからなかった」が51.4%と最も高く、「50万円未満」が35.6%と続く。
- 起業費用に占める自己資金の割合が「100%（自己資金だけで起業）」である人は、起業家で64.5%、パートタイム起業家で72.2%に上る（図-21）。
- 起業時の金融機関からの「借入れなし」の割合は、起業家で79.8%、パートタイム起業家で90.2%に上る（図-22）。
- 起業費用の調達額に対する満足度をみると、「希望どおり調達できた」とする割合が起業家（75.4%）、パートタイム起業家（77.0%）ともに最も高い（図-23）。

図-20 起業費用

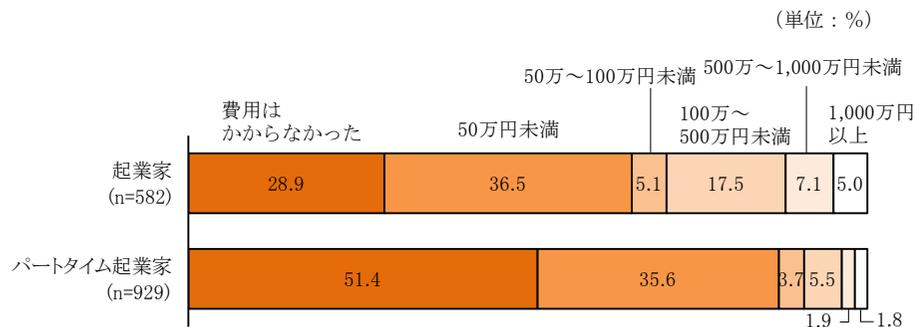
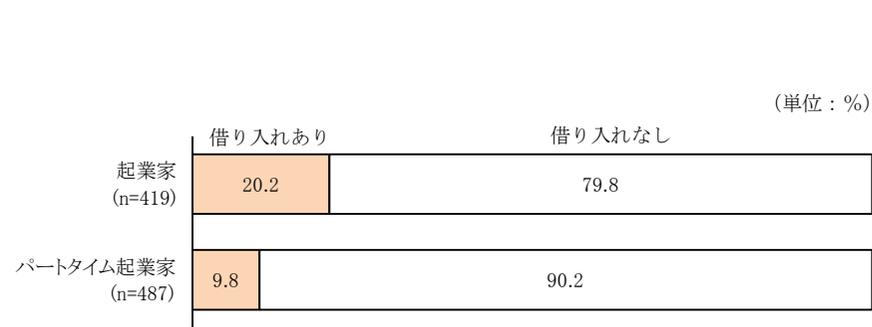


図-22 起業時の金融機関借入れの有無

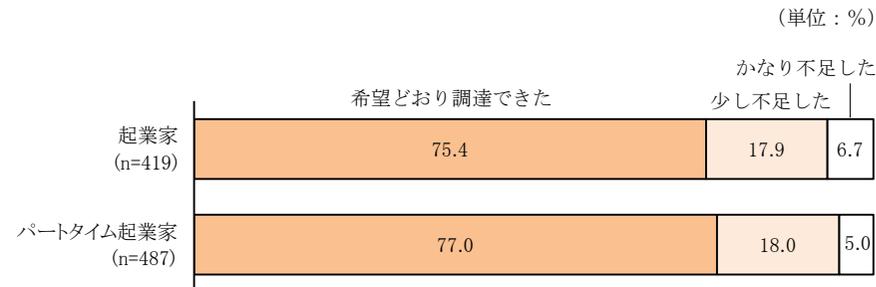


(注) 金融機関借入れとは、民間金融機関（地方自治体の制度融資を含む）および日本政策金融公庫・沖縄振興開発金融公庫からの借入れである。

図-21 起業費用に占める自己資金割合



図-23 起業費用の調達額に対する満足度

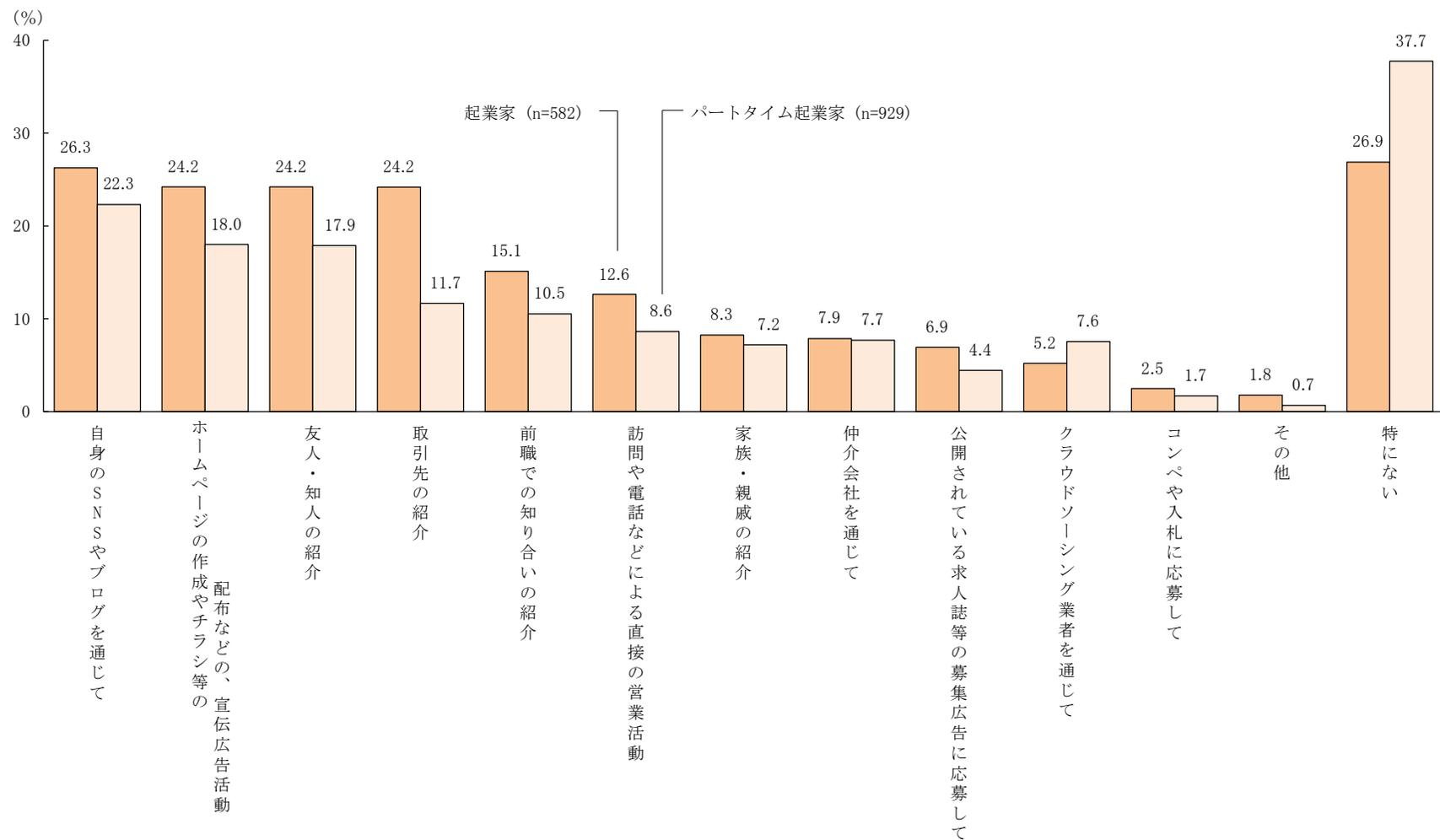


(注) 費用がかかったと回答した人を集計した（図-22、23も同じ）。

～起業家はパートタイム起業家に比べて「取引先の紹介」により受注する割合が高い～

○ 受注経路をみると、起業家で多いのは「自身のSNSやブログを通じて」（26.3%）や、「ホームページの作成やチラシ等の配布などの、宣伝広告活動」（24.2%）、「友人・知人の紹介」（24.2%）、「取引先の紹介」（24.2%）である（図-24）。パートタイム起業家でも同様に、「自身のSNSやブログを通じて」（22.3%）や「ホームページの作成やチラシ等の配布などの、宣伝広告活動」（18.0%）などが多くなっている。

図-24 受注経路（複数回答）



～自分の意向で仕事をする場所や時間帯を決められる起業家は7割以上～

- 仕事や作業をする場所を「通常は自分の意向で決められる」とする割合は、起業家（72.0%）、パートタイム起業家（66.1%）ともに最も高い（図-25）。
- 仕事や作業を行う時間帯を「通常は自分の意向で決められる」とする割合は、起業家（71.9%）、パートタイム起業家（66.3%）ともに最も高い（図-26）。
- 仕事や作業の報酬を「主に発注者が決定する」割合は、パートタイム起業家で42.1%と、起業家（35.5%）より高い（図-27）。
- 仕事や作業を「断れる」とする割合は、起業家が47.0%、パートタイム起業家が54.6%となった（図-28）。

図-25 仕事や作業を行う場所の裁量



図-27 仕事や作業を行う報酬を決めるうえでの裁量

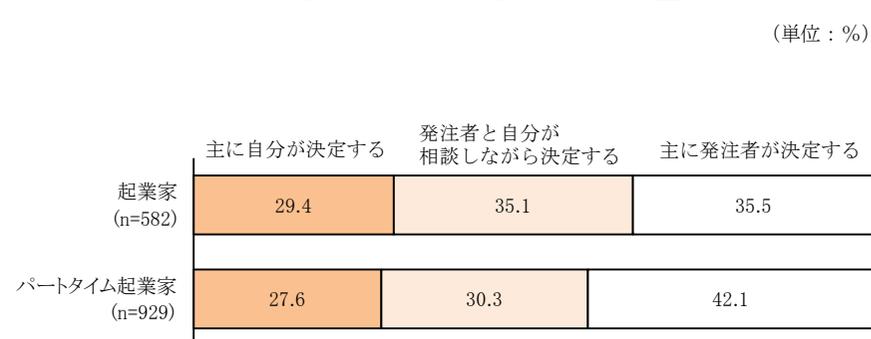


図-26 仕事や作業を行う時間帯の裁量

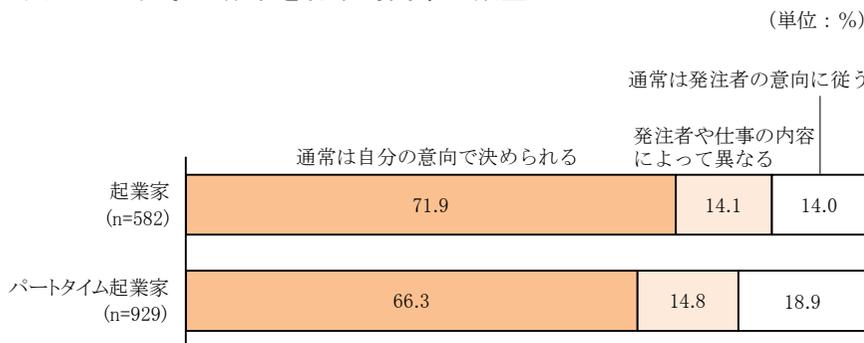
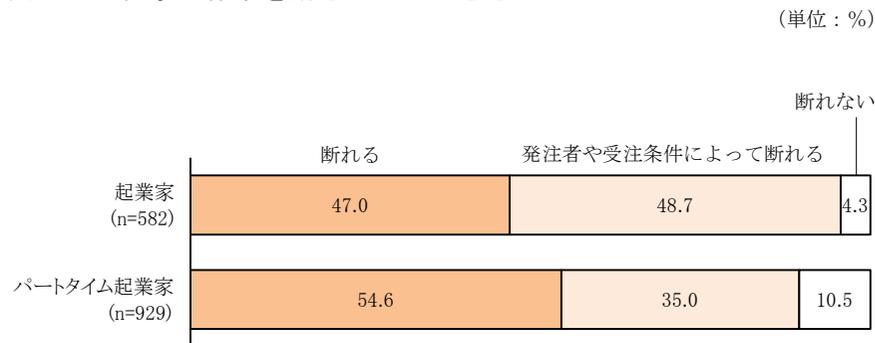


図-28 仕事や作業を断ることができるか



(3) 業績

～起業家、パートタイム起業家の7割以上が、現在の採算状況が「黒字基調」～

- 現在の月商が「50万円未満」である割合は起業家で64.5%、パートタイム起業家で90.2%と大半を占める（図-29）。
- 売り上げ状況が「増加傾向」である割合は、起業家が30.3%、パートタイム起業家が19.0%であった（図-30）。
- 現在の採算状況が「黒字基調」である割合は、起業家が74.0%、パートタイム起業家が75.2%と、ともに「赤字基調」（順に26.0%、24.8%）の割合を大きく上回っている（図-31）。
- 現在の業況が「良い」割合は起業家で16.9%、パートタイム起業家で16.6%、「やや良い」は起業家で47.2%、パートタイム起業家で52.9%となった（図-32）。

図-29 現在の月商



(注) 「わからない」「答えたくない」と回答した人を除いて集計した。

図-30 売り上げ状況

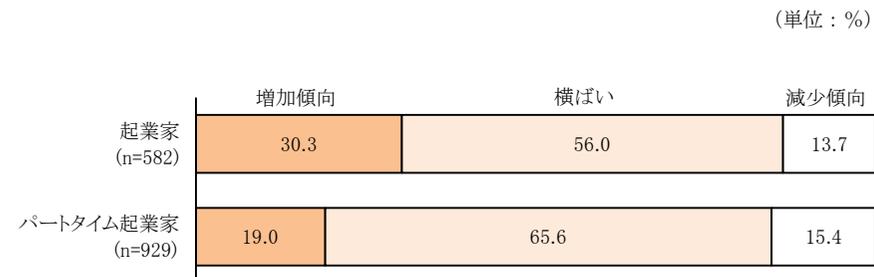


図-31 現在の採算状況

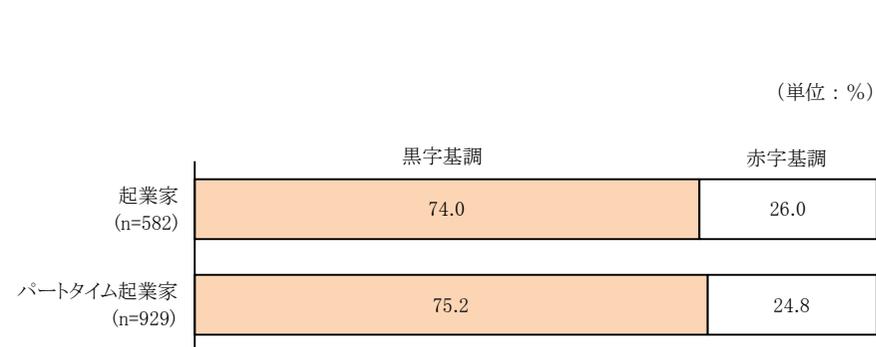
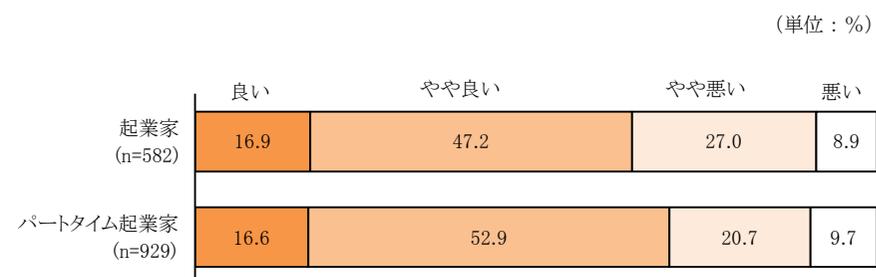


図-32 現在の業況

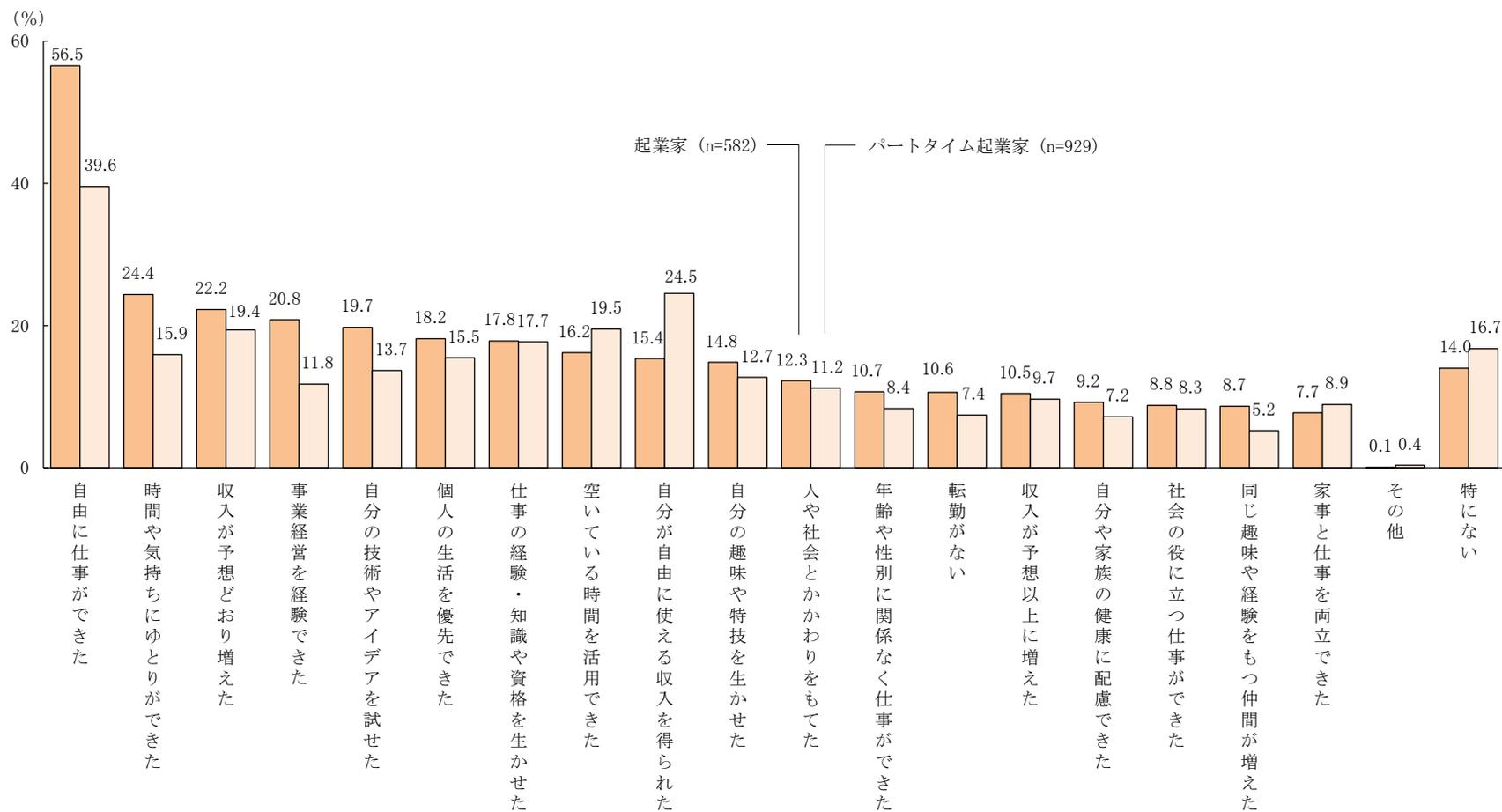


(4) 評価と課題

～事業を始めて良かったことで最も多いのは「自由に仕事ができる」～

○ 事業を始めて良かったことは、起業家、パートタイム起業家ともに「自由に仕事ができる」（順に56.5%、39.6%）が最も多い（図－33）。パートタイム起業家は「自分が自由に使える収入を得られた」（24.5%）や「空いている時間を活用できた」（19.5%）などが起業家（順に15.4%、16.2%）より高い割合となっている。

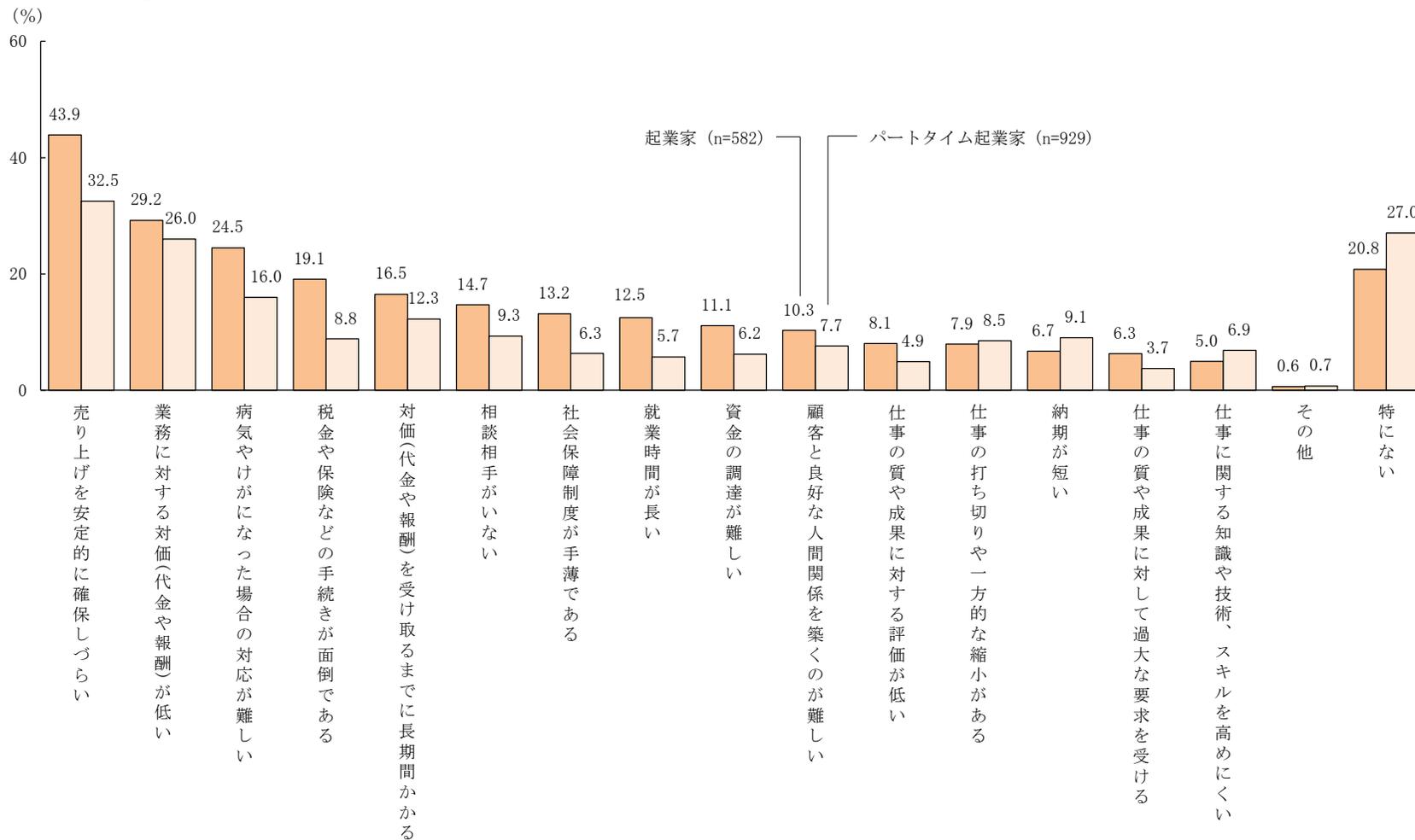
図－33 事業を始めて良かったこと（複数回答）



～安定的な売上げの確保が課題～

○ 事業を行ううえで問題だと感じていることは、起業家、パートタイム起業家ともに「売上げを安定的に確保しづらい」（順に43.9%、32.5%）が最も多く、「業務に対する対価（代金や報酬）が低い」（同29.2%、26.0%）が続く（図-34）。

図-34 事業を行ううえで問題だと感じていること（複数回答）



(5) 今後の方針

～勤務と事業の両立を続ける意向のパートタイム起業家が約半数～

- 今後の売上高を「増やす」方針である割合は、起業家で74.7%と、パートタイム起業家（54.9%）を上回っている（図-35）。
- 従業員数を今後「増やす」とする割合は、起業家が21.8%、パートタイム起業家が14.2%にとどまっている（図-36）。
- 勤務をしながら事業を運営している人に、今後事業を専業にするか尋ねると、起業家では「事業を専業にする」の割合が45.1%と最も高く、パートタイム起業家では「勤務と事業の両立を続ける」が46.7%と最も高い（図-37）。
- 事業を「承継したい」とする割合は、起業家で16.5%、パートタイム起業家で16.6%となった（図-38）。

図-35 今後の方針（売上高）

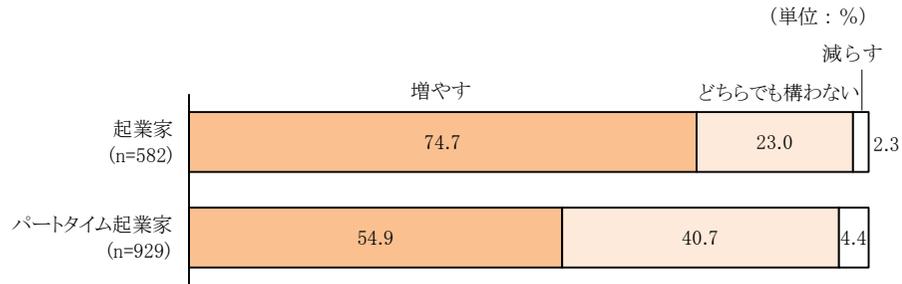
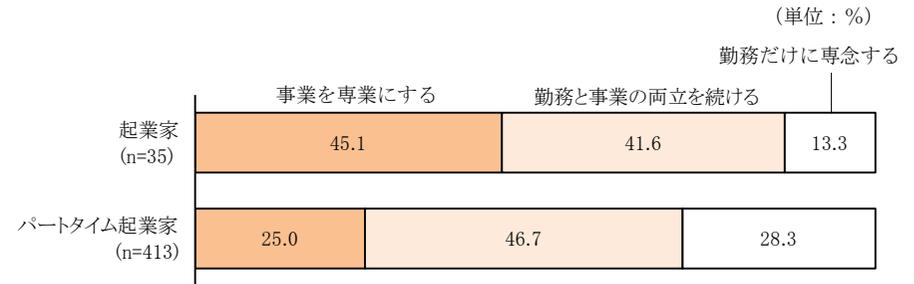


図-37 今後の方針（事業を専業にするか）



(注) 現在の職業を「勤務者」（役員、正社員、パート・アルバイトなど非正社員のいずれか）と回答した起業家、パートタイム起業家に尋ねた。

図-36 今後の方針（従業員数）

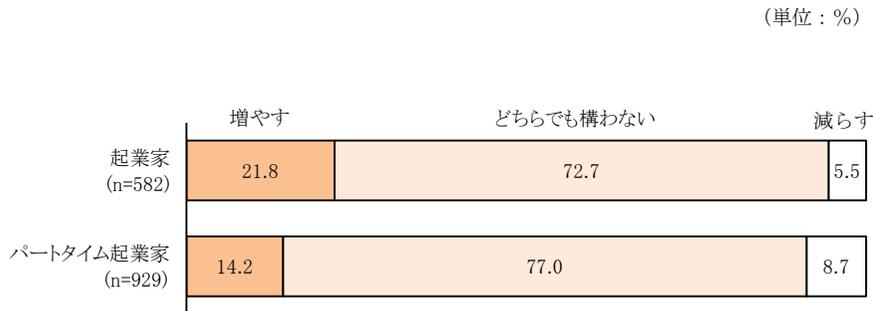
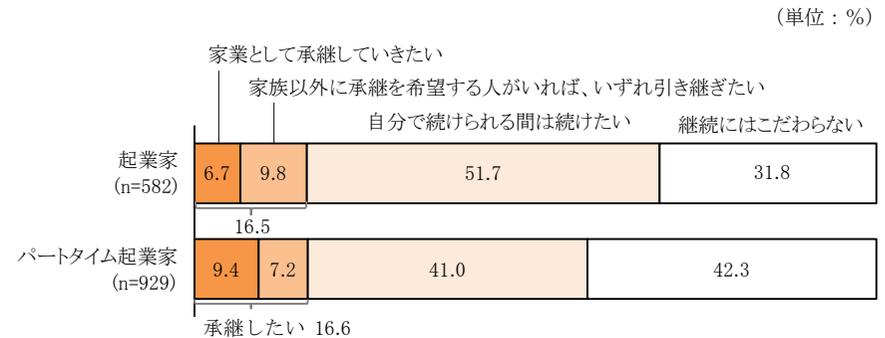


図-38 事業の継続

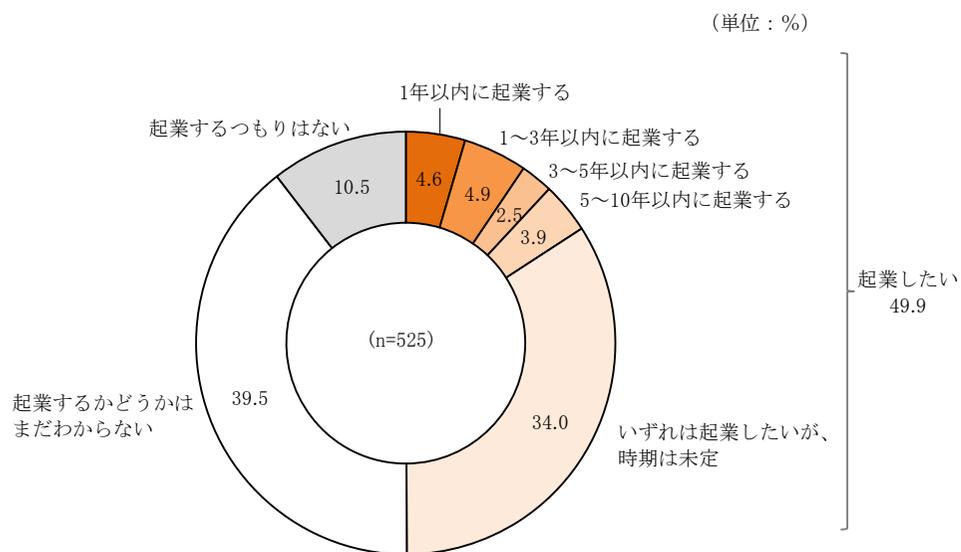


3 起業関心層の実態 ～起業関心層の約半数が「起業したい」と回答～

- 起業関心層に対して起業の予定の有無を尋ねると、「10年以内に起業する」（15.9%）と「いずれは起業したいが、時期は未定」（34.0%）を合わせた「起業したい」が49.9%となった（図-39（1））。
- 性別にみると、「起業したい」とする割合は、男性（51.9%）の方が女性（47.2%）より高い（同（2））。
- 年齢別にみると、「起業したい」とする割合は、29歳以下（54.9%）や40歳代（54.6%）で高い（同（3））。

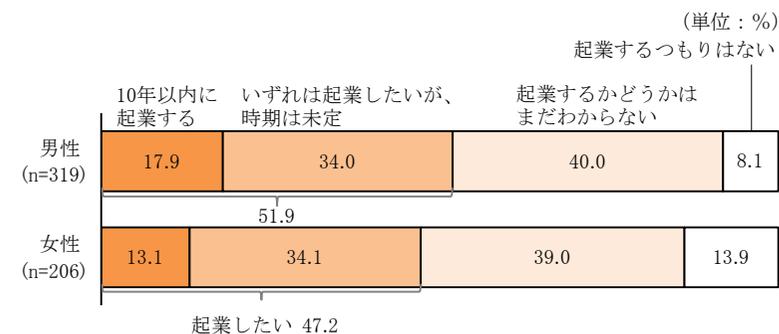
図-39 起業予定の有無

（1）起業関心層全体

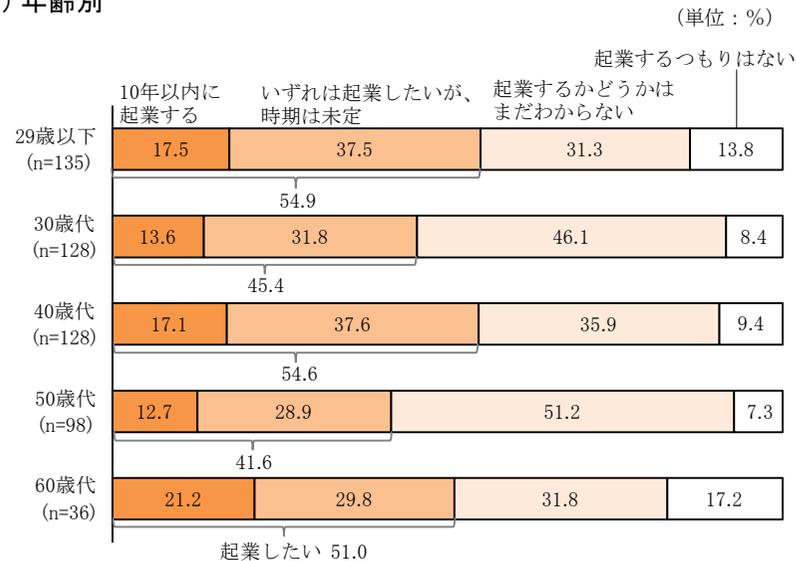


(注) 起業関心層に尋ねたもの（以下図-43まで同じ）。

（2）性別



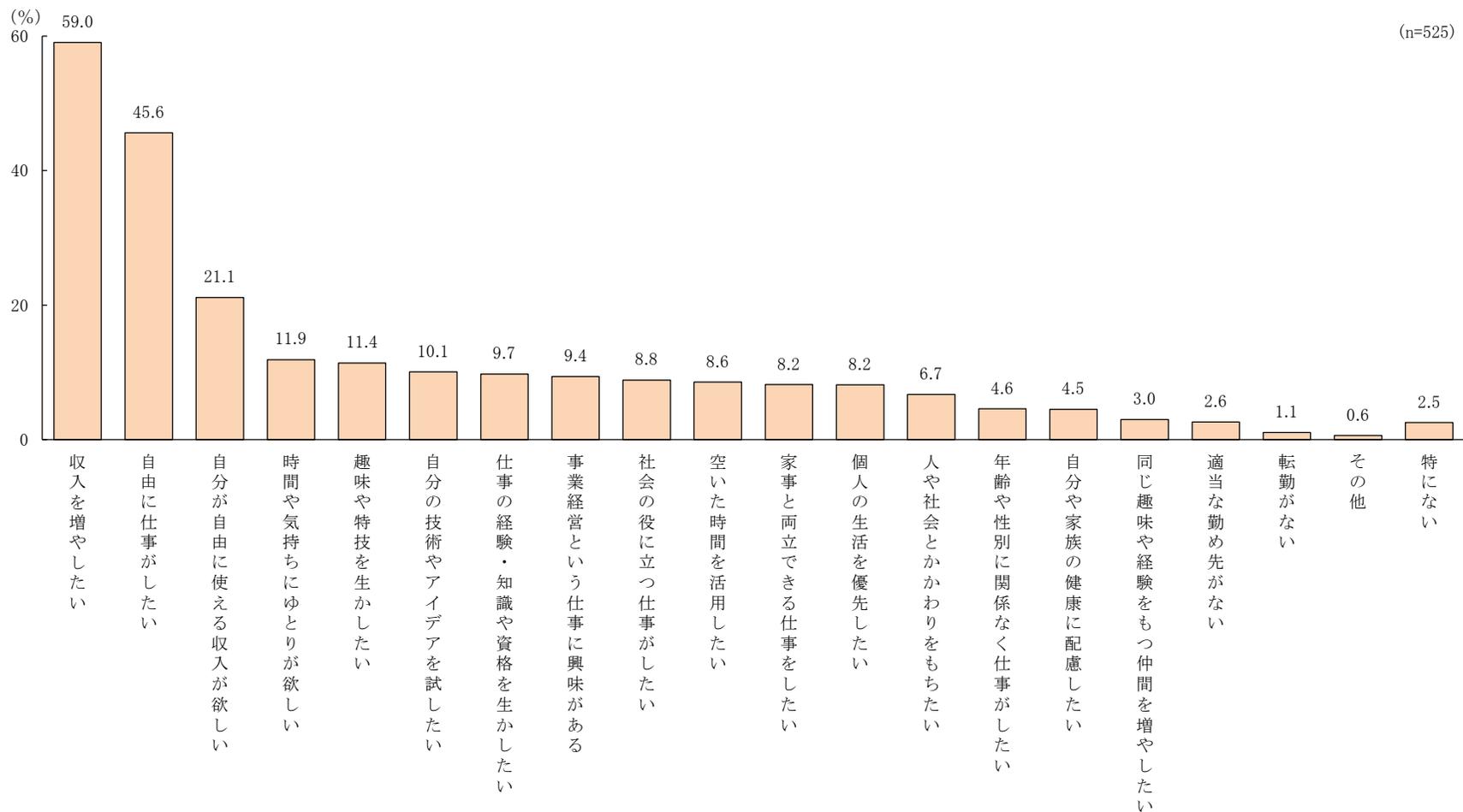
（3）年齢別



～起業に関心をもった理由は「収入を増やしたい」「自由に仕事がしたい」が多い～

○ 起業関心層が起業に関心をもった理由は、「収入を増やしたい」が59.0%と最も多く、「自由に仕事がしたい」（45.6%）、「自分が自由に使える収入が欲しい」（21.1%）と続く（図-40）。

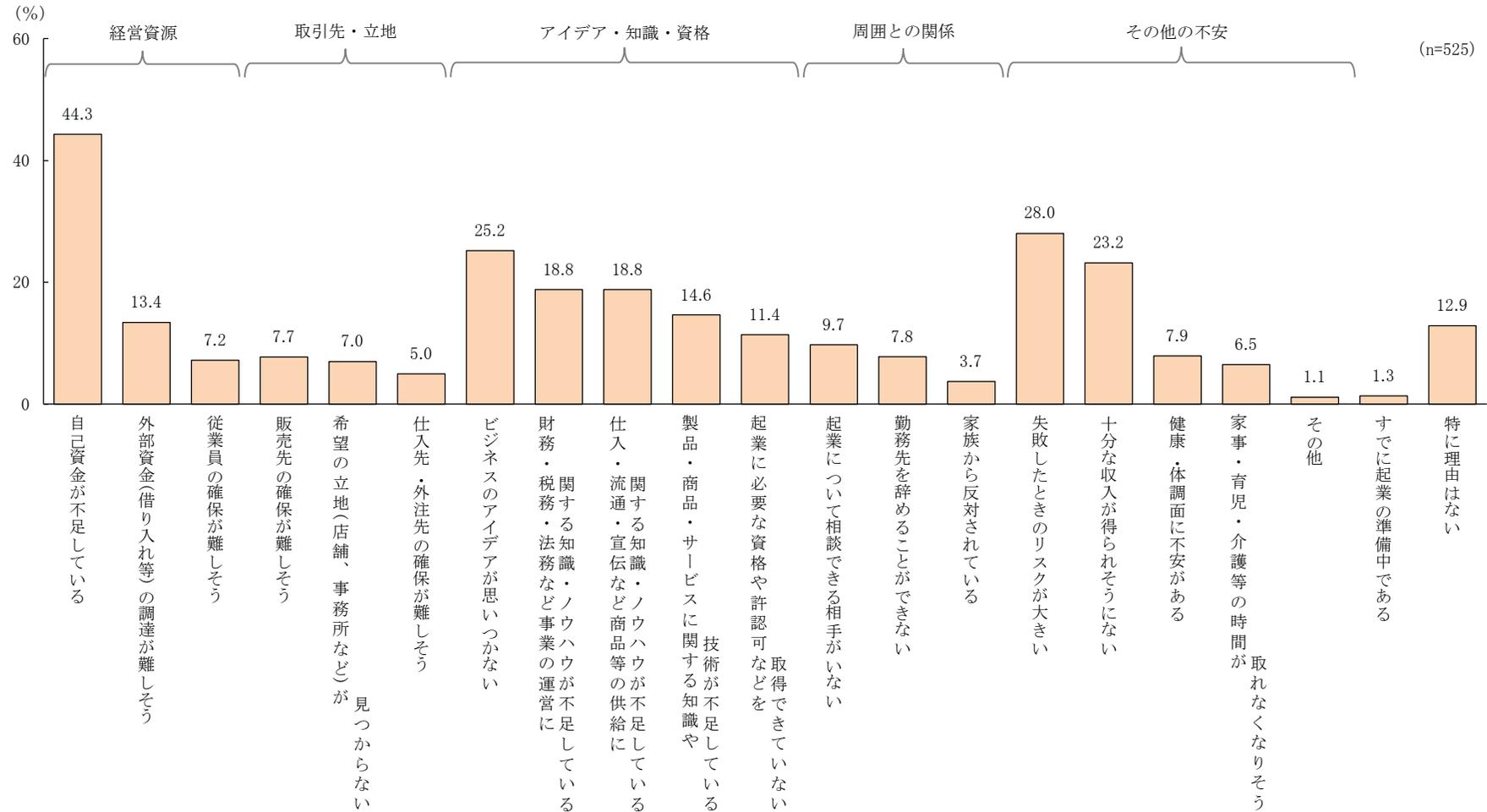
図-40 起業に関心をもった理由（三つまでの複数回答）



～まだ起業していない理由は「自己資金が不足している」が最も多い～

○ 起業関心層がまだ起業していない理由は、「自己資金が不足している」が44.3%と最も多く、次いで「失敗したときのリスクが大きい」(28.0%)、「ビジネスのアイデアが思いつかない」(25.2%)となっている(図-41)。

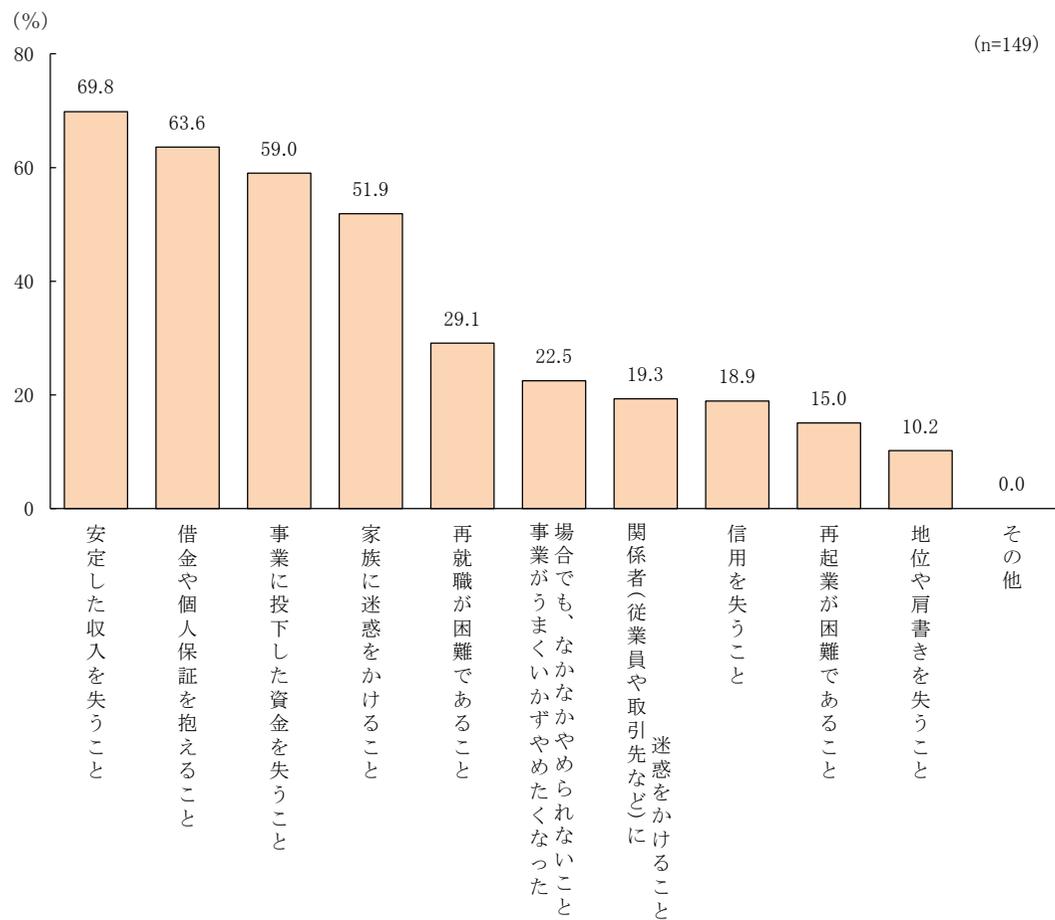
図-41 まだ起業していない理由(複数回答)



～資金面の問題を起業のリスクに挙げる人が多い～

○ 起業に失敗したときのリスクの内容として、「安定した収入を失うこと」（69.8%）や「借金や個人保証を抱えること」（63.6%）、「事業に投下した資金を失うこと」（59.0%）といった資金面の問題を挙げる人が多い（図-42）。

図-42 失敗したときのリスク（複数回答）

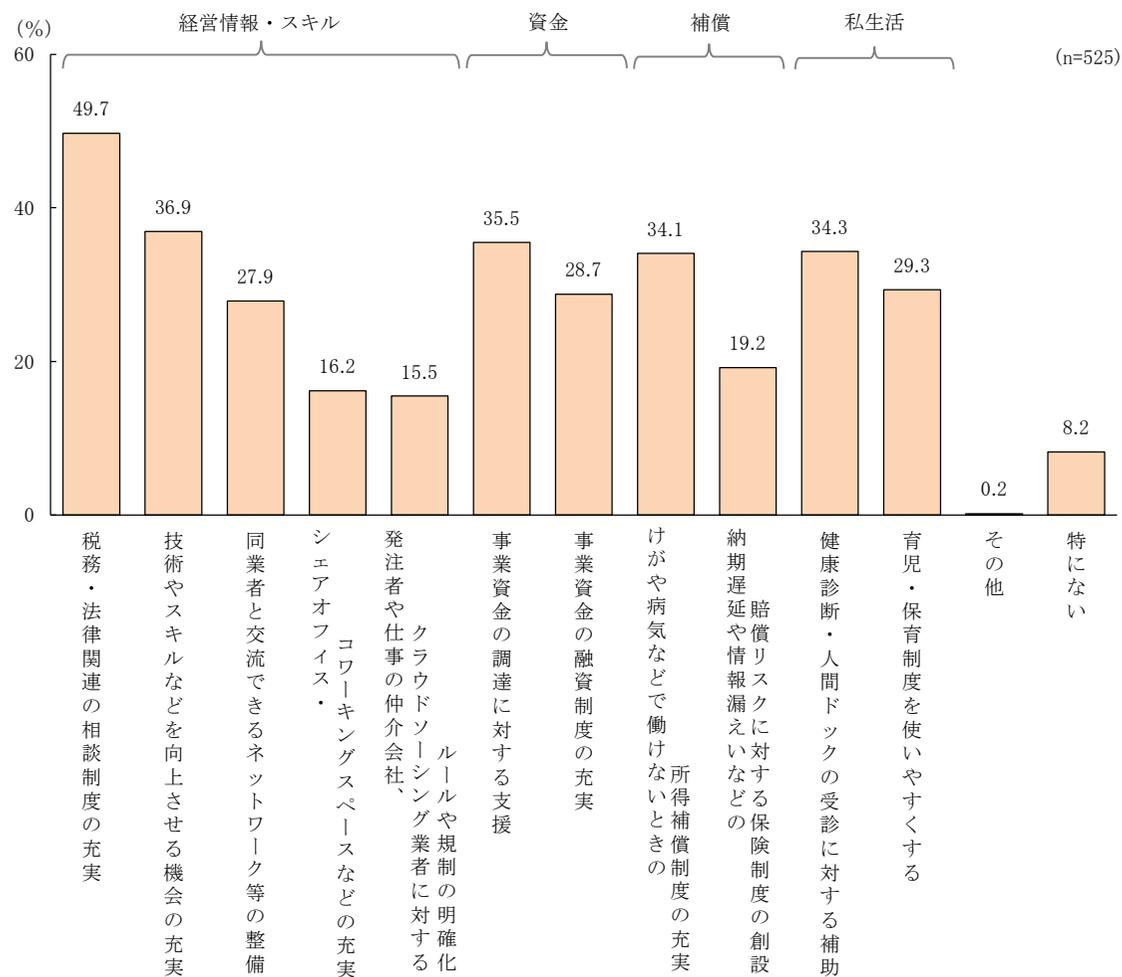


(注) まだ起業していない理由として、「失敗したときのリスクが大きい」と回答した人に尋ねた。

～起業時の支援策として「税務・法律関連の相談制度の充実」を求める人が多い～

○ 起業する際にあったらよいと思う支援策は、「税務・法律関連の相談制度の充実」とする回答割合（49.7%）が最も高く、「技術やスキルなどを向上させる機会の充実」（36.9%）が続き、経営情報やスキルに関する支援を求める人が多い（図-43）。

図-43 起業する際にあったらよいと思う支援策（複数回答）



4 起業家・パートタイム起業家・起業関心層・起業無関心層の満足度
～起業家・パートタイム起業家の満足度は相対的に高い～

- 四つの類型について収入に関する満足度をみると、起業家は「かなり満足」が8.0%、「やや満足」が21.7%、パートタイム起業家は順に5.4%、26.1%と、起業関心層や起業無関心層より高い（図-44）。
- 仕事のやりがいに「かなり満足」「やや満足」である割合は、起業家（順に21.2%、41.7%）、パートタイム起業家（同13.7%、38.5%）の割合が、起業関心層、起業無関心層に比べて高い（図-45）。
- ワークライフバランスに「かなり満足」「やや満足」である割合は、起業家（順に18.2%、31.9%）、パートタイム起業家（同15.8%、37.6%）とともに、起業関心層、起業無関心層を上回る（図-46）。
- 総合的な満足度をみると、「かなり満足」と「やや満足」の割合は起業家（順に16.5%、35.6%）とパートタイム起業家（同9.9%、41.9%）が、起業関心層（同5.7%、26.8%）や起業無関心層（同6.2%、29.4%）より高い（図-47）。

図-44 収入に関する満足度

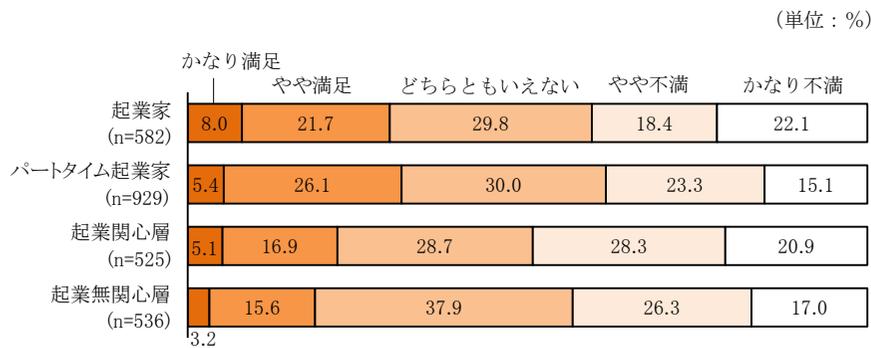


図-46 ワークライフバランスに関する満足度

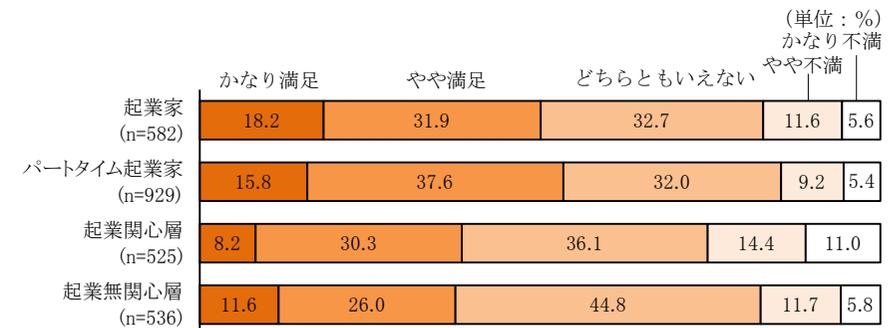
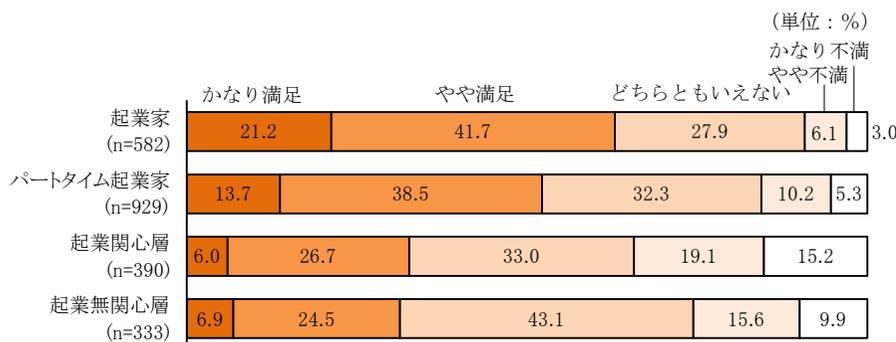
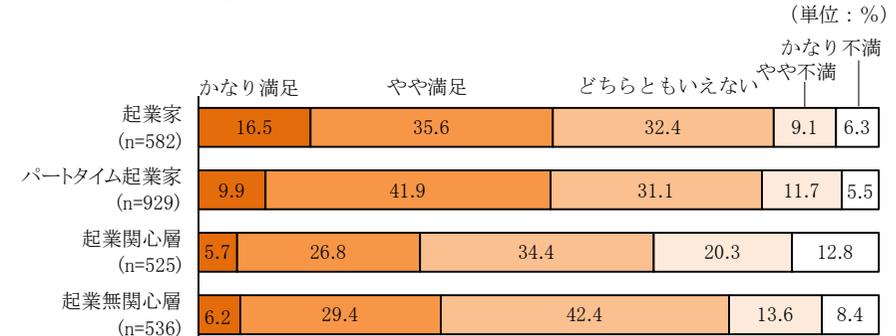


図-45 仕事のやりがいに関する満足度



(注) 起業関心層、起業無関心層については、図-3で現在の職業が勤務者である人を集計した。

図-47 総合的な満足度



Ⅲ まとめ

1 起業家、パートタイム起業家ともに「29歳以下」の割合が約4割 (p.4)

性別は、「男性」の割合が起業家は69.1%、パートタイム起業家は60.7%となった(図-1)。起業無関心層は「女性」が56.8%と半数を超える。

年齢(起業家、パートタイム起業家は起業時の年齢)をみると、起業家とパートタイム起業家は「29歳以下」(順に37.2%、36.3%)の割合が最も高い(図-2)。起業無関心層は「60歳代」(21.7%)の割合が相対的に高い。

2 1人で事業を運営する人が7割超 (p.7)

起業した業種は、起業家、パートタイム起業家ともに「個人向けサービス業」(順に28.4%、22.7%)が最も多い(表)。

現在の従業者数が「1人(本人のみ)」である割合は、起業家が74.1%、パートタイム起業家が77.0%と最も高い(図-12)。

3 起業家の約3割、パートタイム起業家の半数以上が、費用をかけずに起業 (p.11)

起業費用をみると、起業家は「50万円未満」の割合が36.5%と最も高く、「費用はかからなかった」との回答割合も28.9%に上る(図-20)。パートタイム起業家は「費用はかからなかった」の割合が51.4%と最も高く、「50万円未満」も35.6%を占める。

起業費用に占める自己資金の割合が「100%(自己資金だけで起業)」である起業家は64.5%、パートタイム起業家は72.2%を占める(図-21)。

4 起業家、パートタイム起業家の7割以上が、現在の採算状況が「黒字基調」 (p.14)

現在の月商が「50万円未満」の割合は、パートタイム起業家で90.2%と大半を占め、起業家も64.5%と高い(図-29)。

現在の採算状況が「黒字基調」である割合は、起業家(74.0%)、パートタイム起業家(75.2%)ともに「赤字基調」(順に26.0%、24.8%)の割合を大きく上回る(図-31)。

5 起業関心層のうち「起業したい」人が約半数 (p.18)

起業関心層に起業予定を尋ねると、「10年以内に起業する」が15.9%、「いずれは起業したいが、時期は未定」が34.0%で、二つを合わせた「起業したい」が49.9%を占める(図-39(1))。

性別にみると、「起業したい」とする割合は、男性(51.9%)の方が女性(47.2%)より高い(同(2))。年齢別にみると、「起業したい」とする割合は、29歳以下(54.9%)や40歳代(54.6%)で高い(同(3))。

6 起業関心層がまだ起業していない理由は自己資金の不足が最多 (pp.20-21)

起業関心層がまだ起業していない理由をみると、「自己資金が不足している」との回答割合が44.3%と最も高く、次いで「失敗したときのリスクが大きい」(28.0%)、「ビジネスのアイデアが思いつかない」(25.2%)となっている(図-41)。

起業に失敗したときのリスクの内容として、「安定した収入を失うこと」(69.8%)や「借金や個人保証を抱えること」(63.6%)、「事業に投下した資金を失うこと」(59.0%)といった資金面の問題を挙げる人が多い(図-42)。

<参考> ウェイト値の設定について

詳細調査における起業家、パートタイム起業家、起業関心層、起業無関心層の性別・年齢別構成比は、実際の人口構成を反映している事前調査（A群）と比べて偏りが生じている。そこで、詳細調査の集計に当たっては、事前調査（A群）の性別・年齢別構成比に近似させるために、ウェイト値を設定した。その算出方法は次のとおりである。

① 事前調査（A群）の回収数

(単位：人)

	起業家		パートタイム起業家		起業関心層		起業無関心層	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	43	19	206	146	356	219	878	1,141
30歳代	21	12	147	75	271	198	948	1,210
40歳代	30	12	127	96	285	249	1,303	1,597
50歳代	15	8	82	56	239	177	1,152	1,515
60歳代	16	5	81	44	97	64	1,096	1,599

② 詳細調査の回収数

(単位：人)

	起業家		パートタイム起業家		起業関心層		起業無関心層	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	26	13	87	56	90	45	53	53
30歳代	59	48	103	84	71	57	42	44
40歳代	122	32	121	88	70	58	51	62
50歳代	157	17	151	45	62	36	41	70
60歳代	102	6	165	29	26	10	58	62

③ ウェイト (①÷②)

	起業家		パートタイム起業家		起業関心層		起業無関心層	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性
18～29歳	1.654	1.462	2.368	2.607	3.956	4.867	16.566	21.528
30歳代	0.356	0.250	1.427	0.893	3.817	3.474	22.571	27.500
40歳代	0.246	0.375	1.050	1.091	4.071	4.293	25.549	25.758
50歳代	0.096	0.471	0.543	1.244	3.855	4.917	28.098	21.643
60歳代	0.157	0.833	0.491	1.517	3.731	6.400	18.897	25.790